

# 男子ホッケー日本代表チーム ワールドリーグ セミファイナル

日付	2015年6月11日 20:00~21:30		
場所	アルゼンチン・ブエノスアイレス	天候	曇り
試合	第5戦(準々決勝)	通算結果	日本 1勝4敗

## RESULT

Country

**日本**  
**JAPAN**

Final **1 - 2**

Third Period **0 - 1**

Half-time **0 - 1**

First Period **0 - 1**

Country

**アルゼンチン**  
**ARGENTINA**

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	高瀬克也(GK)			
✓	3	粥川幸司			
✓	5	塩川直人			
✓	6	三谷元騎			
✓	7	小野知則(C)			
✓	8	北里謙治			
3	9	藤本一平			
✓	11	川上啓			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
6	18	膳棚大剛			
✓	19	田中健太			
✓	23	坂本博紀	58		
	25	和久利裕貴			
3	26	村田和麻	57		
3	28	星卓			
✓	31	新本優(GK)			
5	32	橋敏郎			
Coach		姜建旭			
Manager		寺本祐治			
UMPIRE		NEL Deon(RSA)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	VIVALDI Juan (GK)			
✓	2	PEILLAT Gonzalo			
✓	4	GILARDI Juan			
✓	5	IBARRA Pedro			
✓	7	CALLIONI Facundo			
✓	10	PAREDES Matias (C)			
7	11	MENINI Joaquin			
✓	12	VILA Lucas			
	14	TREVISAN Pablo			
14	16	ORTIZ Ignacio			
✓	17	LOPEZ Juan			
7	19	DELLA TORRE Nicolas			
37	20	IBARRA Isidoro			
✓	22	REY Matias			
✓	24	BRUNET Manuel			
6	26	MAZZILLI Agustin			
✓	27	ROSSI Lucas			
	30	BERTHOLD Joaquin (GK)			
Coach		RETEGUI Carlos			
Manager		BLANCO Javier			
UMPIRE		BALE Bruce(ENG)			

Team	Minute	Name	Action	Score
ARG	7	PAREDES Matias	FG	0-1
ARG	52	PEILLAT Gonzalo	PC	0-2

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	53	橋敏郎	FG	1-2

ワールドリーグセミファイナル準々決勝戦は世界ランキング6位地元アルゼンチンとの対戦である。日本は第4戦のGK高瀬から高瀬へ、MF村田から坂本に代えた先発メンバーで臨んだ。

(第1クォーター)試合開始5分を過ぎたあたりから、地元の大声援を受けたアルゼンチンが徐々にゲームを支配していく。7分アルゼンチンは日本陣内で素早いチェックからボールを奪いサークルインすると、距離を詰めたGK新本の頭上を越すループシュートを放つ。ゴールバーに当たったリバウンドを押し込みアルゼンチンが先制点を奪う。その後もアルゼンチンは前線からのプレスで試合の主導権を握り、チャンスは何度も作るが、日本も集中した守備で追加点を与えない。

(第2クォーター)第2クォーターも同様に、試合の主導権はアルゼンチンが握り日本は我慢の時間帯が続く。日本は苦しみながらも、27分レフトから三谷がドリブルで切り込み、サークル内の橋にパスを送ると、橋の振り向きざまのシュートからPCを奪う。このPCはボールのイレギュラーバウンドによりシュートまで持ち込むことができない。その後、またもアルゼンチンの攻撃を受ける日本だが、PCを1本も奪われることなく、最少失点で前半を凌ぎきる。

(第3クォーター)後半に入りようやく本来の動きを取り戻した日本。ここから両者一進一退の攻防が続くが、得点の動きはなく最終クォーターへ。

(第4クォーター)何としてでも同点に追いつきたい日本は、前線からプレスを仕掛ける。47分日本は坂本がサークル内の川上へパスを送り、川上はワンタッチでライトのスペースへボールを流すと、そこへ走り込んだ田中がシュートを放つが惜しくもゴール右へ外れる。アルゼンチンは日本の攻撃を凌ぐと、52分ライトからのドリブルでPCを取得。このPCのドラッグフリックシュートを決め2点目を奪う。直後の53分日本は敵陣ライトでの粥川の打ち込みのボールを、藤本がワンタッチで角度を変えサークルに流し込みPCを取得。このPCのバリエーションから得点を奪うことはできない。しかし引き続き攻撃が続く日本は、レフトからサークルへ星がドリブルを仕掛け、中央へ流すと橋がタッチシュートで1点を奪う。これで試合の流れを引き寄せた日本は攻撃の時間帯が続き、56分坂本がサークル手前で倒されPCを取得。膳棚のドラッグフリックシュートはGKの好セーブに阻まれ、同点に追いつくことができない。日本はその後、GK新本に代え粥川を投入しパワープレーを選択するが、1-2のままアルゼンチンに逃げ切れられ惜敗した。

日本	5	シュート数	12	アルゼンチン
	3	PC数	1	

次戦(5-8位順位決定予備戦) 6月13日 13:00 ~ 日本対ニュージーランド 記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸